

集団的自衛権の行使と「日米新ガイドライン」

斉藤光政さん講演会

12月

19日 金



第2次安倍政権は「積極的平和主義」の名目で、海外での武力行使につながる「集団的自衛権」の行使を可能にする政治を着々と進めています。「防衛装備移転三原則」、「集団的自衛権行使容認の閣議決定」などは「集団的自衛権行使」の実現にむけた政治の一環です。そして今まさに、日米両政府の間で「日米ガイドライン」再改定の作業が進んでいます。この「ガイドライン再改定」にはどのような問題があるのでしょうか？長年にわたり青森県三沢基地を中心とする米軍の取材を続け、米軍の現状や問題については日本で最も優れたジャーナリストである斉藤光政さんに、日本の「軍事最前線」である青森県での在日米軍や自衛隊の実態を踏まえ、「日米軍事一体化」の現状と「日米ガイドライン」再改定の問題点などを話して頂きます。

日時：12月19日(金)

午後6時半～8時半

場所：名古屋市教育館 講堂

講演：斉藤光政さん

東奥日報（青森県の新聞）編集委員

演題：在日米軍最前線あなたが知らない日本列島の現実

資料代：500円

◆戦争をさせない1000人委員会あいち◆

名古屋市熱田区金山町 1-14-18 ワークイップザレある5F

あいち平和フォーラム気付

TEL/052-678-3111 FAX/052-678-3123

HP：<http://www.anti-war-aichi.info/>

【経歴】1959年生まれ。青森県出身。現在、東奥日報社編集委員兼論説委員。青森県三沢基地の核や在日米軍の現状と問題を鋭く世間に提起してきたことで、「第6回平和・共同ジャーナリスト基金賞」（2000年）、「第11回新聞労連ジャーナリスト大賞」（2007年）、「第9回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」などを受賞。2004年には米国防務省のインターナショナル・ビジター・プログラム（安全保障部門）で米国での研修と取材。著書等に『米軍「秘密」基地ミサワ』（同時代社、2002年）、『在日米軍最前線』（新人物往来社、2008年）、『下北核半島』（岩波書店、2011年）。共著に前田哲男・飯島滋明編『Q&Aで読む 日本軍事入門』（吉川弘文館、2014年）など。